

B型肝炎ワクチンの接種について

【B型肝炎について】

B型肝炎は、B型肝炎ウイルスの感染でおこる肝炎です。発症すると急性肝炎、さらに肝炎が持続する慢性肝炎、肝硬変、肝がんとなる場合があります、ワクチンで予防できる病気です。感染力が強いB型肝炎ウイルス保有者の血液、皮膚からの汗や浸出液、涙、唾液などの体液で感染します。B型肝炎ウイルスを保有している母親から妊娠中や出産時に感染する場合（母子感染）が多いとされてきましたが、最新の研究では肝炎ウイルス保有者の家族内感染や集団生活による施設内感染も明らかになってきました。

【ワクチンの副反応】

副反応は、注射部位の発赤、腫脹（はれ）、硬結（しこり）、疼痛、熱感、そう痒感などがあります。その他、発熱、発疹、湿しん、そう痒、じんましん、関節炎、肩こり、背部痛、関節痛、筋肉痛、嘔気・嘔吐、腹痛、下痢、食欲不振、眠気、めまい、頭痛、悪寒、倦怠感、違和感、があらわれることがあります。

【予防接種を受けることができない人】

1. 明らかに発熱のある人（37.5℃以上）
2. 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
3. 過去にB型肝炎ワクチンの接種を受けて、アナフィラキシーを起こしたことがある人
4. その他、医師が予防接種を受けることが不適当と判断した人

【B型肝炎ワクチン接種方法】 接種回数 3回

標準的な接種間隔： 1回目・2回目 1回目接種後、27日以上の間隔をおいて2回目を接種

3回目 1回目の接種から、139日以上（20週後の同じ曜日以降）の間隔をおいて接種

【定期接種について】 B型肝炎ワクチンが平成28年10月1日より定期接種（公費）となります。

対象年齢	回数	標準的な接種期間	
生後1歳未満		1回目・2回目	生後2か月～3か月の間に27日以上の間隔で2回
（平成28年4月1日以降に生まれた1歳未満の子）	3回	3回目	1回目接種後、139日以上（20週後の同じ曜日以降）の間隔で1回（生後7か月～8か月）

特例措置：平成28年4月～平成28年7月生まれの方は、公費対象となる期間が平成29年7月末までとなります。

予診票：平成28年9月以降生まれの方は、個別通知にて予診票が送付されます。

平成28年4月～8月生まれの方は、案内のはがきが送付されます。予診票は医療機関で配布いたします。

■ 1歳以上（定期接種外）の自費接種料金：1回 4,300円＋税

■ 申込み方法

接種希望される方は、直接窓口（電話：045-849-4141）でご予約ください。

平成28年9月

いべこどもクリニック